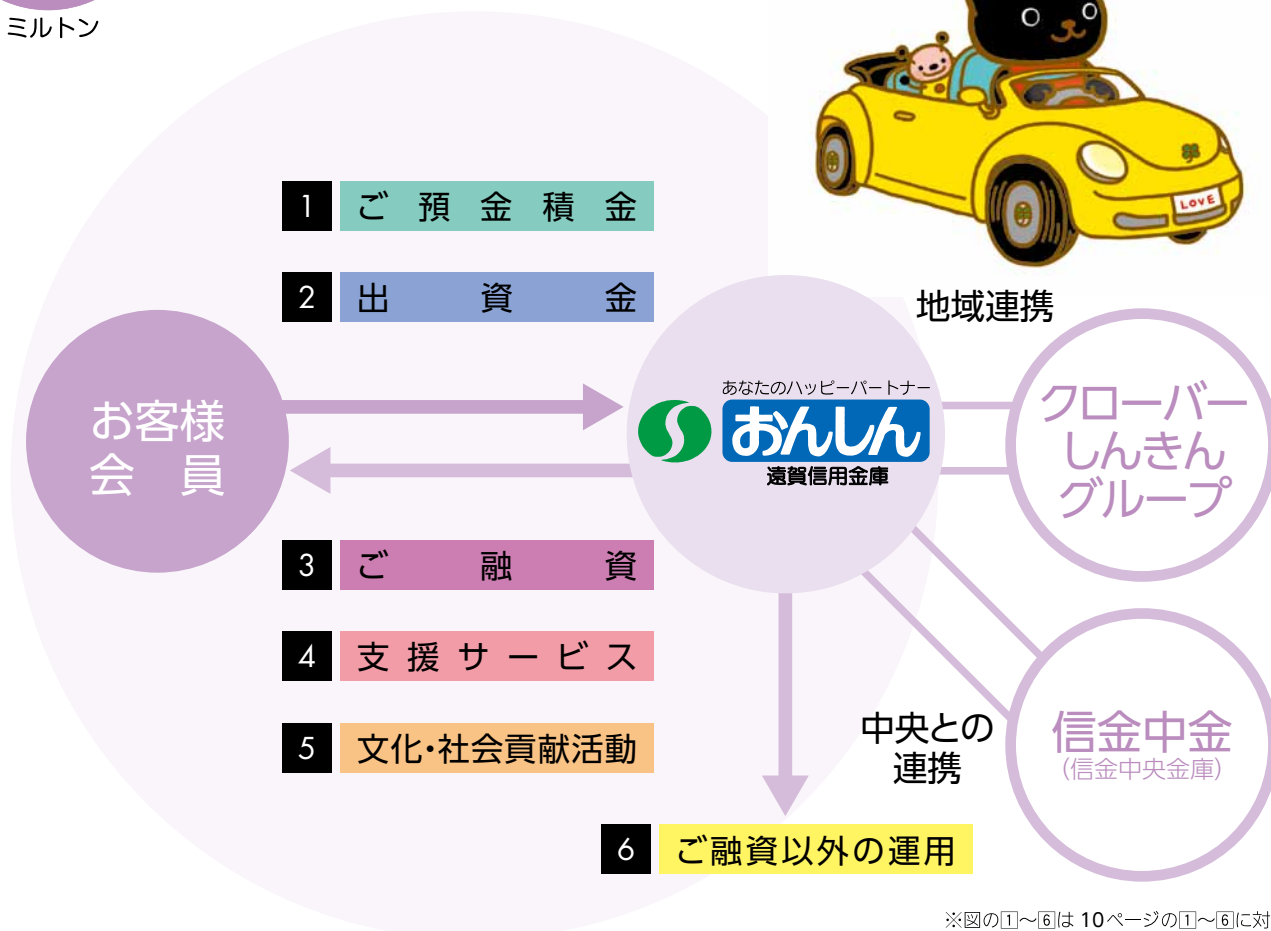




おんしんと地域社会



ミルトン



※図の①～⑥は 10ページの①～⑥に対応します。

信用金庫・信金中央金庫とおんしんについて

信用金庫は銀行とほぼ同じ業務を行っていますが、銀行のように株式会社ではなく、より密着したサービスを行うため営業地域が定められ、会員の皆さまからの出資金を元手とした地元のための協同組織金融機関です。皆さまからお預りした大切なご資金(預金や積金)は、地元で資金を必要とする皆さまへご融資として事業や生活繁栄のお手伝いをするとともに、地域の一員として、中小企業者や住民の皆さまと強い絆で結ばれたネットワークを形成して地域経済の発展に努めております。

信金中央金庫(信金中金)は、全国の信用金庫の出資により設立された信用金庫の中央金融機関です。全国の信用金庫から預け入れられた資金と、金融債を発行して調達した資金を、有価証券や短期金融市場、さらには国・地方公共団体、事業会社等への貸出やPFI事業への取組み等によって運用し、その成果を種々の形で信用金庫業界に還元しています。

また、為替・資金の集中決済や信用金庫の業務機能の補完を行うほか、業界のセーフティネットを運営することにより、業界の信用力の維持・向上に努めています。

全国には267の信用金庫があり(平成26年6月末現在)、おんしんもその1つです。経営基本方針に掲げたように「お客様の役に立つ金融機関」「お客様から選ばれる金融機関」「地域のベスト金融機関」を目指して、おんしんは金融機能のみにとどまらず、文化、環境、教育なども視野に入れて、地域社会の活性化に積極的に取り組んでまいります。

👉 P3「経営理念」「経営の基本方針」をご覧ください。

おんしんの営業地域

昭和24年に遠賀郡水巻町で産声を上げたおんしんは、北九州市八幡西区から福岡市東区・糟屋郡粕屋町までJR鹿児島本線と国道3号線の沿線にエリアを広げて営業しており、15の店舗で皆さまをお待ちしています。

定款で定められたおんしんの営業地域は、15の店舗周辺地域はもとより、「クローバーしんきんグループ」(遠賀、飯塚、田川、福岡)の総合力を発揮して、良質かつ高度な金融サービスを提供し、県内他金庫との協調融資等の案件にも柔軟に必ずべく、平成24年7月3日に認可を受け「福岡県内一円」といたしております。

おんしんの役職員は店舗周辺地域に居住し、公私ともに皆さまと密接にお付き合いをさせていただいております。

👉 P17・18「店舗紹介」をご覧ください。

地域と共に生きる“おんしん”です

1 ご預金積金(地域からの資金調達)

平成26年3月末の預金積金残高は183,852百万円で、地域の皆さまからの預金により資金を調達しています。一般個人、事業法人のほか、地方公共団体からの預金もお預りしています。おんしんは、水巻町、遠賀町の指定金融機関も務めています。

➡ P13「預金業務」およびP28「預金資料」をご覧ください。

2 出資金

個人会員13,874名、法人会員2,649社で出資総額は196百万円ですが、これに過去からの営業努力による積立金などが加わり、会員勘定は15,896百万円という厚さです。順調な業績を背景に19年3月期より年8%の配当とさせていただきます。

➡ P5「会員」P7・8「総代会について」P20「会員勘定」をご覧ください。

3 ご融資(地域への資金供給)

平成26年3月末の融資残高は114,752百万円となりました。「地元経済に対する貢献度の目安」といわれる預貸率は62.41%と、業界平均を大きく上回る水準にて、地域の皆さまへ安定した資金を供給しています。また、信金中央金庫などによる代理貸付の残高である債務保証は、360百万円となっています。

➡ P13「貸出金業務」P26・27「貸出金等資料」、「預貸率」をご覧ください。

4 支援サービス(お取引先への支援)

平成16年度より、融資先の経営改善支援に全店を挙げて取組んでおります。

■経営改善支援の取組み実績(平成25年4月～平成26年3月)

(単位:先数、%)

	期初 債務者数	経営改善支援 取組み先数	債務者区分が ランクアップした 先数	債務者区分が 変化しなかった 先数	債務者区分が 再生計画を 策定した先数	経営改善 支援 取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先	3,782	0		0	0	0.00		0.00
要 注意先	その他要注意先	353	9	0	8	2.55	0.00	100.00
	要管理先	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻懸念先	29	4	2	2	4	7.55	50.00	100.00
実質破綻先	89	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻先	47	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
合 計	4,300	13	2	10	13	0.30	15.38	100.00

5 文化・社会貢献活動

秋のおんしん講演会(響ホール室内合奏団、三遊亭歌之介師匠)、マナー研修会、ロビー展などの開催をはじめ、大ホール・会議室・ギャラリーなどのご提供や、おみこし、お祭りグッズの貸出し、清掃活動、献血活動のほか各種イベントへの参加・協賛など、幅広く皆さまとお付き合いをさせていただいております。業務推進部に設けた地域貢献課が「暮らしのあんしんコーナー」を担当しております。

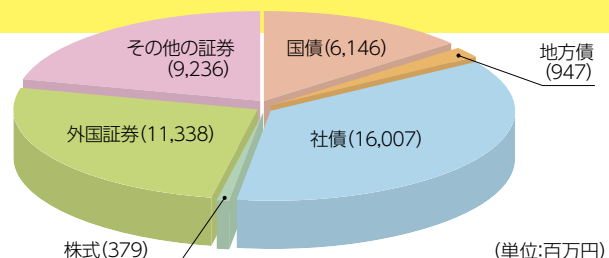
➡ P14「暮らしのあんしんコーナー」P15・16「ふれあいトピックス」をご覧ください。

6 ご融資以外の運用

お預りした資金は、融資のほか急な払出しに対する備えや、収益の補完を目的として余裕資金運用を行っています。代表格である有価証券残高は44,056百万円で内訳は右のグラフのとおりです。

➡ P29「有価証券資料」をご覧ください。

●平成25年度の財務諸表についてはP20～24をご覧ください。





おんしんと地域社会

コロちゃん

クローバーしんきんグループの活動

「クローバーしんきんグループ」は、福岡・筑豊地区の4金庫（遠賀、飯塚、田川、福岡）を構成メンバーとして、平成22年6月1日に発足しました。

私たちは、加盟各金庫の独自性を尊重しつつ、相互の連携を深めていくことにより、1金庫ではなしえない総合的金融サービスも提供させていただき、地域の経済、社会に貢献することを目指しています。

《クローバーしんきんグループの取組み状況》

■商品の共同開発と販売

1 「ペット保険」

ペットの医療負担軽減のため「ペット保険」の取扱いを平成22年10月に開始し、継続募集を行っております。

2 「協調融資」

それぞれの金庫独自では応じがたい大規模の需要について、協調融資による対応を推進しています。

■「合同研究会の定期開催」

「理事長意見交換会」、「役員意見交換会」、各金庫の本部課長級職員による「業務研究会」に加え、現場レベルでの営業手法の共有化を目指し、各金庫の支店長による「支店長研究会」を定期的で開催しております。



■シンボルマーク

豊稔の象徴である四つ葉のクローバーと幸運の象徴であるてんとう虫で、4つの信用金庫とその連携・協力を表現。



ペット保険チラシ

「おんしん おむすび会」について

平成25年5月に、おんしんで公的年金をお受け取りいただいているお客様を会員とする「おんしん おむすび会」を発足しました。

全体のイベントとして昨年はおんしん講演会（宗像ユリックス）、今年は出雲大社・玉造温泉への旅行、また地域ごとのイベントとして、「博多新劇」への観劇ツアー等を実施し、会員の皆さまとともに、当庫の役職員も、楽しい時間をすごすことができました。

「おんしん おむすび会」の会員の皆さまには、たくさんの素敵な特典がございます。どうぞ、お気軽に皆さまのお近くの営業店の窓口にお声をかけてください。



おんしん おむすび会 イメージキャラクター 「おむすびくん」

金融円滑化法期限到来後の当金庫の取組状況について

当金庫は、地域の中小企業及び個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、金融円滑化法の期限到来後も引き続き地域金融の円滑化に全力を傾注して取組んでいます。また、貸付の条件の変更等の実施状況についても自主的な開示を行っております。

以下は、平成26年3月31日現在の取組状況です。

(単位:件、百万円)

		相談	実行	謝絶	取下げ	審査中
		事業資金	件数	565	507	16
	金額	13,352	12,270	696	303	82
住宅資金	件数	118	104	5	9	0
	金額	1,102	979	37	85	0

(注) 1. 事業資金、住宅資金別に貸付けの条件の変更等を受けた貸出債権の件数・金額を集計しました。
2. さらに詳しい内容は当庫ホームページをご覧ください。

地域密着型金融推進項目とその進捗状況について(平成25年度)

項目	具体的な施策	平成25年4月～平成26年3月の実績
1. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
地域共生店舗の展開	どなたでも気兼ねなく使えるトイレ、地域の皆さまの作品を展示できるギャラリー、休日も稼動する貸金庫、「暮らしのあんしんコーナー」(何でも相談コーナー)の設置など、気象にお立ち寄りいただき皆さまのふれあいの場となる店舗作りにも努めます。	「暮らしのあんしんコーナー」では、806件のご相談をお受けいたしました。
事業活動への支援・多彩な資金ニーズへの対応	地域の企業活動や事業継承を支援するため、企業の資金需要や各種の相談にきめ細かく応じてまいります。また、地域の個人の皆さまの資金需要にも対応し、多重債務問題解決の一助ともなるよう消費者ローンの態勢を強化します。	「フリーローンおんがえし」により低金利の消費者ローンを推進し、合計で1,100件、973百万円のご利用をいただきました。
音楽会、講演会、旅行等の企画	「マナー研修会」、「おんしん講演会」、「おんしんふれあい旅行」など、地域の方々が集い楽しんでいただける行事を企画いたします。	「マナー研修会」に144名の方に参加いただきました。「おんしん講演会」に約2,000名をお招きいたしました。「おんしんふれあい旅行」に49名の方に参加いただきました。
特色のある商品の提供	定年をお迎えの方々への感謝の気持ちを金利に込めた「豊齢」など、地域の皆さまの期待にお応えする商品を提供いたします。	宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産への登録を応援する定期預金は総額41億円に上り、21万円を関係団体に寄付しました。
金庫経営の安定性強化	地域経済へ持続的に貢献するため、金庫の財務の健全性、経営の安定性にさらに努めます。今後とも自己資本の増強に努めます。	平成25年度の自己資本比率は14.50%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。
2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援		
企業再生・経営改善活動の推進	経営的な困難に直面している企業を重点取組み先として選定し、事業支援に取り組めます。	各店1先を重点企業支援先として選定し、支援取組みを行っております。
創業・新事業支援の継続	地域企業の新規事業について息長く支援していきます。	制度融資として6件30百万円を取組みました。
事業継承支援活動	企業経営者の高齢化により、事業の円滑な継承が地域の経済にとって重要な課題となっています。法務、税務等の専門家と連携し、支援活動に取り組めます。	
不良債権比率の改善	企業支援、債権管理の充実により、不良債権に積極的に取組み、引き続き不良債権比率の改善に努めます。	平成25年度は、不良債権比率は5.17%と、前年度より0.01%低下しました。
3. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	ABL・動産担保の活用による融資等を推進します。	ABL 2件52百万円を取組みました。また、信金中央金庫との提携による動産担保融資の取扱いを行っています。
新形態の融資の推進	実績のあるシンジケートローン・ノンリコースローンをお客様のニーズに合わせて取組みます。	

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

■ 中小企業の経営支援に関する取組み方針・体制整備

中小企業円滑化法は、平成25年3月末日に適用期限が到来しましたが、期限到来後も、当金庫の地域金融円滑化のための基本方針は従来と何ら変更はありません。

なお、当金庫はコンサルティング機能強化のため、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」としての公的な認定を取得しました。また、福岡県中小企業診断士協会など外部専門機関との連携も積極的に行っております。

今後も、お取引先の立場に立って経営課題に応じた最適な解決策の提案など、経営改善の支援に努めてまいります。当金庫の本支店窓口にお気軽にご相談ください。

■ 中小企業の経営支援に関する取組み状況

本部支援部署と営業店との連携のもと、お取引先に対して情報提供や財務面でのアドバイス、各種経営相談に応じています。また、緊急に経営改善を要すると考えられるお取引先(13先)をリストアップし、返済負担の軽減に対応するほか経営改善計画の策定支援や外部コンサルタントとの連携、新規取引先の紹介などを行いました。このような企業支援の取組みに対し、福岡財務支局で顕彰を受けました。

(1) 創業支援・新規開拓支援

創業資金として制度融資6件30百万円を取組みました。また、認定支援機関として18先の創業補助金の申請支援を行いました。

(2) 成長段階における支援

日本政策金融公庫との提携による農業分野向け融資の取扱いを開始しました。

(3) 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

緊急に経営改善を要すると考えられるお取引先(13先)に対して、重点的に経営改善支援を行いました。